

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-091 改 39
提出年月日	平成 30 年 8 月 30 日

V-3-別添 1 竜巻への配慮が必要な施設の強度に関する説明書

目次

V-3-別添 1-1 竜巻への配慮が必要な施設の強度計算の方針

V-3-別添 1-1-1 竜巻より防護すべき施設を内包する施設の強度計算書

V-3-別添 1-1-2 残留熱除去系海水系ポンプの強度計算書

V-3-別添 1-1-3 残留熱除去系海水系ストレーナの強度計算書

V-3-別添 1-1-4 主排気筒の強度計算書

V-3-別添 1-1-5 換気空調設備の強度計算書

V-3-別添 1-1-6 ディーゼル発電機用海水ポンプの強度計算書

V-3-別添 1-1-7 ディーゼル発電機用海水ストレーナの強度計算書

V-3-別添 1-1-8 ディーゼル発電機吸気口の強度計算書

V-3-別添 1-1-9 配管及び弁の強度計算書

V-3-別添 1-1-10 波及的影響を及ぼす可能性がある施設の強度計算書

V-3-別添 1-1-10-1 建屋及び構造物の強度計算書

V-3-別添 1-1-10-2 消音器の強度計算書

V-3-別添 1-1-10-3 排気管、放出管及びベント管の強度計算書

V-3-別添 1-2 防護対策施設の強度計算の方針

V-3-別添 1-2-1 防護対策施設の強度計算書

V-3-別添 1-2-1-1 防護ネットの強度計算書

V-3-別添 1-2-1-2 防護鋼板の強度計算書

V-3-別添 1-2-1-3 架構の強度計算書

V-3-別添 1-3 屋外重大事故等対処設備の固縛装置の強度計算の方針

V-3-別添 1-3-1 屋外重大事故等対処設備の固縛装置の強度計算書

：今回ご説明分

V-3-別添 1-1-1 竜巻より防護すべき施設を内包する施設の
強度計算書

(一部抜粋)

(5) 廃棄物処理建屋固体廃棄物搬出入設備（鉄骨造部）

廃棄物処理建屋固体廃棄物搬出入設備（鉄骨造部）のうち鉄骨架構については、図3-38に示す各モデルのような、廃棄物処理建屋との接合部をピン支持とした3次元はりモデルに対し、竜巻荷重により架構部材に発生する応力度を計算し、許容限界を超えないことを確認する。

架構部材に発生する応力度の算出式は、表3-30に示すとおり。

構造解析には、解析コード「KANSAS 2」を用いる。なお、評価に用いた解析コード「KANSAS 2」の検証及び妥当性確認等の概要については、添付書類「V-5-27 計算機プログラム（解析コード）の概要・KANSAS 2」に示す。

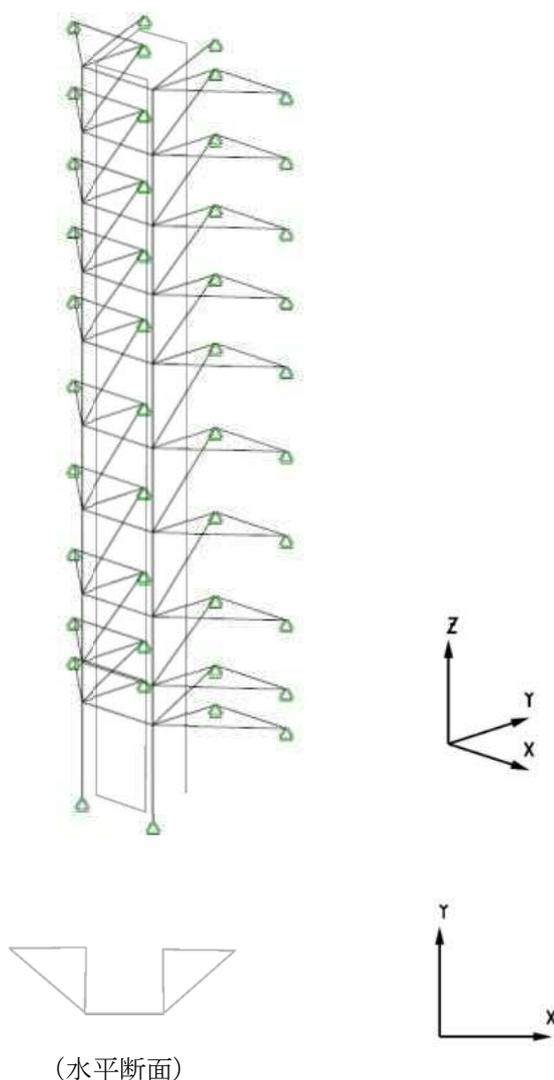


図 3-38 廃棄物処理建屋固体廃棄物搬出入設備（鉄骨造部）の解析モデル図（2/2）